

スマートシティ特別委員会 報告

1. 委員構成

委員長：上田 朋和

副委員長：東野 真樹

委員：稲垣 清也、高辻 伸行、山口 忠志、今津 和喜夫、林 茂信、林 俊昭

2. 調査目的

スマートシティへの取組に関する調査研究

3. 調査期間

令和2年9月25日～令和3年9月14日

4. 委員会等開催状況

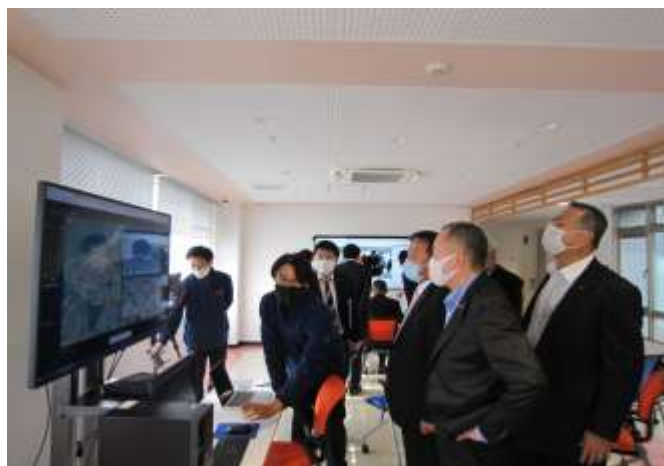
	委員会	委員協議会	行政視察
令和2年	2回	0回	0回
令和3年	5回	1回	0回
合計	7回	1回	0回

5. 協議・報告事項件数

9件（令和2年：2件、令和3年：7件）

6. 現地視察（令和2年11月12日）

スマートシティへの取組を把握するため、かが交流プラザさくら内において、アバター体験、3Dマップを使ったドローンシミュレーション体験、コンピュータクラブハウス加賀への現地視察を行い、進捗状況等の確認を行った。



ドローンシミュレーション体験



コンピュータクラブハウス加賀

7. 調査の結果及び今後

IoT等の新技術を活用したスマートシティをまちづくりの基本とし、社会課題を解決し、将来を見据えた便利で快適なまちづくりを実現するためのスマートシティ施策が本市の重要課題となっている。そのため、本委員会では、加賀市におけるスマートシティへの実現に向けた取組や進捗状況について、調査・研究を行ってきた。

まず初めに、加賀市が行っているスマートシティへの取組を洗い出し、概要や実施段階、到達目標を協議の上、かが交流プラザさくらにおいて、アバター体験や3Dマップでのドローンシミュレーション体験、コンピュータクラブハウス加賀での取組を視察したほか、オンラインで手続きが可能な電子申請サービスについて体験会を開催し、xIDアプリの設定方法やLOGOフォーム電子申請など、様々な行政サービスのデジタル化への取組について調査してきたところである。

今後、加賀市が目指すスマートシティの取組について住民への理解をさらに深め、AIやIoT、ロボットなどの先端技術を社会実装することで、様々な地域課題を解決し、新規事業の創出などを行い、市民生活の質の向上や人口減少に歯止めをかけることを目的とした活力のある地域として住み続けられるまちづくりを目指すことが必要である。

以上のことから、当局に対し、「スマートシティの取組に関する提言書」を提出することとし、さらなるスマートシティへの取組がなされるよう要望するものである。